

C-(vi) . 業務アプリケーションの機能・性能要件

【物流・経営分析系】

C-(vi) . 業務アプリケーションの機能・性能要件【物流・経営分析系】

C-(VI) . 業務アプリケーションの機能・性能要件	1
【物流・経営分析系】	1
1 材料払出システム	4
1-1 出庫機能	4
1-1-1 払い出し管理	4
1-1-2 払い出し管理支援機能	4
1-2 データの利用と管理	4
1-2-1 払出管理業務	4
1-2-2 在庫管理業務(部門別)	4
1-2-3 テーブルマスタ管理	5
1-3 他システムとの連携	5
1-3-1 セキュリティ管理システム	5
1-3-2 物流システム	5
1-3-3 経営分析システム	5
2 物流管理システム	6
2-1 業務取扱物品	6
2-1-1 システム管理対象物品	6
2-2 材料部業務	6
2-2-1 発注業務 / 発注予定処理	6
2-2-2 入庫業務	7
2-2-3 出庫業務	7
2-2-4 検収業務	8
2-2-5 契約管理業務	8
2-3 診療部業務	8
2-3-1 請求業務	8
2-3-2 入庫業務	8
2-3-3 出庫業務	8
2-3-4 移管業務	8
2-3-5 在庫業務	8
2-4 消費状況検知機能	9
2-4-1 診療プラットフォームから	9
2-4-2 各部門システムから	9
2-5 負担行為管理支援機能	9
2-5-1 予算配当管理	9
2-5-2 負担行為管理	9
2-5-3 機能内容	10
2-5-4 帳票出力	10
2-5-5 データ連携処理	10
2-5-6 保守・メンテナンス	10
2-6 管理機能	10
2-6-1 帳票出力機能	10
2-6-2 テーブルメンテナンス	11
2-6-3 システム管理業務	12
2-7 他システムとの連携	12
2-7-1 セキュリティ管理システム	12
2-7-2 診療プラットフォーム	12

2-7-3	各部門システム	12
2-7-4	材料払出システム	13
2-7-5	医事会計システム	13
2-7-6	経営分析システム	13
3	経営分析システム	14
3-1	基本機能	14
3-1-1	セキュリティ	14
3-1-2	データウェアハウス	14
3-1-3	データウェアハウス・マネジメントソフトウェア	14
3-1-4	OLAP ツール	14
3-2	取込と統合	15
3-2-1	医業収入	15
3-2-2	医業支出に関わる情報項目	15
3-2-3	経費(消費財関係)	15
3-2-4	人的資源に関わる情報項目	15
3-3	抽出と登録	15
3-3-1	診療情報の抽出	15
3-3-2	転送と登録	15
3-3-3	システム間インターフェイス	15
3-4	管理課帳票	15
3-4-1	用度第二係	15
3-4-2	司計係	16
3-5	経営分析	18
3-5-1	条件設定	18
3-5-2	一次分析	18
3-5-3	二次分析	19
3-5-4	有用性	20
3-6	診療分析	20
3-7	他のシステムとの連携	20
3-7-1	セキュリティ管理システム	20
3-7-2	診療プラットフォーム	20
3-7-3	各部門システム	20
3-7-4	物流システム	20
3-7-5	医事会計システム	20

(性能・機能に関する要件)

C-(vi) . 業務アプリケーションの機能・性能要件 【物流・経営分析系】

1 材料払出システム

1-1 出庫機能

1-1-1 払い出し管理

1-1-1-1 各診療科部から材料部への物品請求がオンラインでできること.

1-1-1-2 材料オーダ取り込み処理により払出予定処理が行えること.

1-1-1-3 払出入力ができること.

1-1-1-4 医用消耗器材,再生滅菌器材の各診療科部への払い出し,ならびに日報・月報・年報の出力を,材料部で実施できること.

1-1-1-5 特定医療材料についても,同様の処理ができること.

1-1-1-6 滅菌消毒機器の稼動状況登録ならびに集計ができること.

1-1-1-7 再生滅菌器材(処理後)への付番処理が可能であり,払い出し先のアライ管理できる機能を有すること.この機能を活用することで,リコール処理も可能であること.

1-1-1-8 診療科部別の払出集計表が出力できること.(日次/月次/年次)

1-1-1-9 材料または予め設定してある材料群を指定して,各材料の在庫量を確認できること.

1-1-1-10 易アレルギー誘発物品を入力・管理・表示・検索できること.

1-1-2 払い出し管理支援機能

1-1-2-1 各診療科部・部署場所ごとの定時払出数ならびに臨時払出数とその頻度の履歴,ならびに移動平均を表示・出力できること.

1-1-2-2 物流システムから,各診療科部・部署場所ごとの材料消費状況を日々受信すること.

1-1-2-3 各診療科部・部署場所ごとに,週間材料消費状況が移動平均を上回った場合,これを通知すること.

1-2 データの利用と管理

1-2-1 払出管理業務

1-2-1-1 請求一覧表

1-2-1-2 請求状況確認表

1-2-1-3 請求一覧表(臨時用)

1-2-1-4 滅菌材料払出一覧表

1-2-1-5 滅菌材料払出一覧表(臨時用)

1-2-1-6 約束セット貸出票

1-2-1-7 出庫先部署別統計

1-2-1-8 品目種別出庫金額統計

1-2-1-9 出庫先部署別統計(移管)

1-2-2 在庫管理業務(部門別)

1-2-2-1 在庫調整機能を有すること.

1-2-2-2 在庫状況一覧表の出力ができること.

1-2-2-3 部署別在庫照会機能を有すること.

- 1-2-2-4 部署間在庫移管入力ができること。
- 1-2-2-5 有効期限切れ照会機能を有すること。
- 1-2-2-6 停滞物品照会機能を有すること。
- 1-2-2-7 購入(払出)/使用実績一覧表の出力ができること。
- 1-2-2-8 入在庫管理台帳を出力できること。

1-2-3 テーブルマスタ管理

- 1-2-3-1 保守管理ユーティリティにて以下のテーブルを保守できること。
 - 1) 項目マスタ
 - 2) 項目分類マスタ
 - 3) 必須入力事項設定テーブル
 - 4) コメントテーブル
 - 5) ツール表示用の警告メッセージ
 - 6) ツール表示用のエラーメッセージ
 - 7) 定数払い出し管理テーブル
 - 8) 滅菌消毒機器テーブル(滅菌消毒法, 使用滅菌剤・薬品含む)
 - 9) 請求・払出可能曜日テーブル
 - 10) 請求・払出可能時刻テーブル
 - 11) オーダ締め切り時刻設定テーブル
- 1-2-3-2 保守対象テーブルは, 本院職員のシステム管理者ならびに当該部の権限を有する者が管理できること。

1-3 他システムとの連携

1-3-1 セキュリティ管理システム

- 1-3-1-1 アクセス権の設定に要するすべての情報を送受すること。

1-3-2 物流システム

- 1-3-2-1 本システムより, 物流システムに対して, 請求情報を送信すること。
- 1-3-2-2 物流システムより, 発注状況, 在庫予定状況等の情報を受信すること。

1-3-3 経営分析システム

- 1-3-3-1 入在庫ならびに請求払出情報を経営分析システムに送信すること。

2 物流管理システム

2-1 業務取扱物品

2-1-1 システム管理対象物品

- 2-1-1-1 保険請求の可否に係わらず院内で取り扱う薬品類と材料等の物品を対象とする。
- 2-1-1-2 対象物品は全て、費目管理されること。

最低限管理される対象物品の費目は、以下のとおりとする：

- B33 投薬注射用薬品（処方・注射）
- B34 検査処置手術用薬品（検査・処置手術）
- B36 管理用薬品
- B42 R I 薬品
- B61 造影剤
- B62 血液製剤
- B41 特定治療材料
- B30 診療用消耗器材
- B31 衛生材料
- B43 歯科材料
- B38 医療用ガス
- B39 X線フィルム
- B40 現像定着液
- 110 基準寝具借上料
- 111 宿直用寝具借上料
- 112 病衣借上料
- 113 看護衣借上料
- N13 フィルムバッチ測定料

2-2 材料部業務

2-2-1 発注業務 / 発注予定処理

- 2-2-1-1 発注部署との接続により、発注書が発行できること。
- 2-2-1-2 現在発注中のものを再度入力した場合は、エラー表示され、追加するかどうか選択できること。
- 2-2-1-3 発注書が出力できること。
- 2-2-1-4 発注予定分の入力ができること。
- 2-2-1-5 発注書訂正ができること。
- 2-2-1-6 発注書を再出力できること。
- 2-2-1-7 発注予定修正ができること。
- 2-2-1-8 コード番号で発注物品を指定できること。また材料の正式名称が表示されること。
- 2-2-1-9 発注物品の数量を指定できること。
- 2-2-1-10 現在庫数が表示されること。
- 2-2-1-11 各部署および材料部からの請求情報を基に、業者への発注業務が行えること。
このとき、必要な情報が管理課用度第二係へ遅滞無く自動転送されること。
- 2-2-1-12 ドロアー管理できること。

ただしここでいうドロアーとは必ずしも実体を示すものではなく、論理的な管理単位を意味している。

- 2-2-1-13 ドロアー管理を利用しない運用もできること。
- 2-2-1-14 ドロアー管理を利用するか否かは、部署ごとに設定できること。
- 2-2-1-15 材料部、手術部で、ドロアー番号別材料のバーコードを出力できること。
- 2-2-1-16 バーコードは、ドロアー番号、材料名、定数が含まれていること。
- 2-2-1-17 臨時出庫一括出力として全部署の部署別滅菌器材合計伝票と衛生材料合計伝票が出力されること。また部署コード、年月日を指定して、1 部署の滅菌器材、衛生材料合計伝票が出力されること。
- 2-2-1-18 仮発注ファイル修正にて、各部署で入力された請求データを修正することができること。
- 2-2-1-19 発注が必要となる数量の設定ができること。
- 2-2-1-20 業者を登録しておき、業者別の発注書の発行ができること。また、部署別、業者別、での物品請求命令書、物品請求及命令内訳書が出力できること。

2-2-2 入庫業務

- 2-2-2-1 入庫登録は、ハンディーターミナルを利用し使用材料の入力を行えること。
- 2-2-2-2 発注データに基づき納品確認ができ、入庫登録ができること。
- 2-2-2-3 業者別でも発注日付でも処理できること。
- 2-2-2-4 入庫処理で数値を入れると、入庫覧の数値が自動算出表示され、発注覧の数値が自動算出され残量数に表示変更されること。
- 2-2-2-5 入庫処理で数値が入力された際、物品コード番号の文字色等を変化させることで、明示させること。
- 2-2-2-6 入庫が発注数を超えている場合、警告の表示が出され、処理できないようになること。
- 2-2-2-7 入庫管理表は、発注に基づいて、納入業者別の一覧形式として表示できること。
表示順位は、発注日付毎・納入業者毎のごとに一覧形式として表示できること。

2-2-3 出庫業務

- 2-2-3-1 ハンディーターミナルによる出庫、棚卸入力ができ、サーバへの転送ができること。
- 2-2-3-2 出庫および破棄処理は、材料部、手術部および放射線部の各部門(以下各部門という)のみで操作できること。
- 2-2-3-3 処理日付は入力しなければ当日として処理できること。
- 2-2-3-4 ドロアー番号を選択して、当該ドロアー内の物品の追加・修正ができること。
- 2-2-3-5 定時出庫は、定時で登録したドロアーのみ操作できること。
- 2-2-3-6 臨時出庫は、各部屋からの入力、および各部門での入力ができること。
- 2-2-3-7 臨時出庫は部署ごとに選択して、追加・修正できること。
- 2-2-3-8 臨時出庫はコード番号順に表示されていること。
- 2-2-3-9 衛生材料はコード番号を入れて追加できること。
- 2-2-3-10 コード番号を入れると材料の規格と名称が表示されること。
- 2-2-3-11 各部署での器材オーダし、コード番号不要であること。
- 2-2-3-12 コード番号を入れると衛生材料の滅菌法と名称が表示されること。
- 2-2-3-13 登録後にデータの削除ができること。
- 2-2-3-14 請求できる器材は、数量のみの入力ができること。
- 2-2-3-15 高圧蒸気滅菌とガス滅菌は数量を入力ができること。
- 2-2-3-16 破棄処理は日ごとの集計であること。
- 2-2-3-17 破棄処理は各部署および各部門で入力ができること。
- 2-2-3-18 破棄処理は部署別、日別およびドロアー別に入力できること。

- 2-2-3-19 破棄数を入れると、自動的に各部門の在庫数から引かれること。
- 2-2-3-20 病棟入力状況モニタ機能を有すること。

2-2-4 検収業務

- 2-2-4-1 検収入力ができること。
- 2-2-4-2 未納品検索が行えること。

2-2-5 契約管理業務

- 2-2-5-1 用度係への材料の請求が行えること。
- 2-2-5-2 契約更新データ作成ができること。
- 2-2-5-3 契約更新データ修正ができること。
- 2-2-5-4 納入実績入力ができること。
- 2-2-5-5 予定価格・数量入力ができること。

2-3 診療部業務

2-3-1 請求業務

- 2-3-1-1 自動請求処理での請求品目および請求数の確認および修正ができること。
- 2-3-1-2 自動請求以外の品目の請求処理ができること。

2-3-2 入庫業務

- 2-3-2-1 業者が作成した納品書と発注データを基に検品を行い入庫データが作成できること。

2-3-3 出庫業務

- 2-3-3-1 材料使用時各部署でバーコードを利用し出庫データが作成できること。
- 2-3-3-2 物品出庫入力時に物品使用の原因となった診療行為の入力ができること。

2-3-4 移管業務

- 2-3-4-1 他部署の材料を使用時その材料の移管処理ができること。

2-3-5 在庫業務

- 2-3-5-1 各部署での在庫管理および棚卸業務の支援帳票出力ができること。
- 2-3-5-2 受払照会にて部署毎かつ品目毎の1ヶ月入出庫暦の確認ができること。
- 2-3-5-3 在庫状況照会における品目毎の在庫状況の確認ができること。
- 2-3-5-4 各部署において管理して備品の一元集中管理がおこなえること。
- 2-3-5-5 品目別に所在場所が端末から検索できること。
- 2-3-5-6 貸出し状況、貸出日、利用状況、利用開始日が確認できること。
- 2-3-5-7 購入年月日、修理情報など備品管理が行えること。
- 2-3-5-8 備品使用時には、使用場所、使用患者、借受け氏名、日時を入力できること。
- 2-3-5-9 各部署(病棟、外来、各診療部門等)において使用した一般材料情報を入力することに、物品管理部門への請求が行えること。
- 2-3-5-10 入力は、リスト(診療科別・病棟別請求頻度順および50音順)からの選択、直接番号入力、バーコードのいずれでも可能であること。
- 2-3-5-11 各部署(病棟、外来、各診療部門等)において使用した医療材料情報を入力することにより、物品管理部門への請求が行えること。ただし、薬剤部管理の薬品(処置薬・院内製剤)は、薬剤部に対し請求が行えること。
- 2-3-5-12 入力は、リスト(診療科別・病棟別請求頻度順および50音順)からの選択、直接番号入力、バーコードのいずれでも可能であること。
- 2-3-5-13 入力された使用医療材料情報が、医事請求可能な場合、当該患者の医事レセプトへ自動的に反映されるシステムであること。

- 2-3-5-14 放射線部のフィルムの在庫管理および発注処理は、放射線部システムと連携して行えること。
- 2-3-5-15 部署別払出数量の入力は請求部門からの請求データと連携すること。

2-4 消費状況検知機能

2-4-1 診療プラットフォームから

- 2-4-1-1 算定項目ならびに付随項目のうち物品等の消費に関わる情報が確定入力もしくは実施された際には、これを消費状況として受信すること。
- 2-4-1-2 消費状況は、診療科部別、部署場所別、ならびに診療グループ別、医師別に管理すること。
- 2-4-1-3 物品消費状況のうち材料払出システムが扱う物品については材料払出システムへ、薬剤管理システムが扱う薬品等については薬剤管理システムへ、それぞれ診療科部別・部署場所別の消費状況を送信すること。
- 2-4-1-4 消費状況は経営分析システムに送信すること。

2-4-2 各部門システムから

- 2-4-2-1 各部門業務の遂行すなわち機器の稼動状況(検査数など)を受信すること。
- 2-4-2-2 稼動状況を基にして物品等の消費状況を算出し、これを消費状況として記録すること。このときオーダ元の診療科部、部署場所、ならびに診療グループ、医師も同時に記録すること。
- 2-4-2-3 物品消費状況のうち材料払出システムが扱う物品については材料払出システムへ、薬剤管理システムが扱う薬品等については薬剤管理システムへ、それぞれ診療科部別・部署場所別の消費状況を送信すること。
- 2-4-2-4 消費状況は経営分析システムに送信すること。

2-5 負担行為管理支援機能

2-5-1 予算配当管理

- 2-5-1-1 以下の予算配当管理項目を登録できること。
 - 1) 業務区分
 - 2) 更新区分
 - 3) 予算年度
 - 4) 配当年月日
 - 5) 整理番号および枝番
 - 6) 部局名(附属病院, 医学部), 部局コード
 - 7) 科目名, 科目コード
 - 8) 増額および減額
 - 9) 摘要

2-5-2 負担行為管理

- 2-5-2-1 以下の負担行為管理項目を登録できること。
 - 1) 部局名(附属病院, 医学部), 部局コード
 - 2) 会計年度
 - 3) 負担行為, 支出決議, 同時決議の別
 - 4) 決議書の種類
 - 5) 負担区分
 - 6) 契約区分

- 7) 内訳種別
- 8) 部局予算および残高
- 9) 経理分類予算および残高
- 10) 支出行為負担番号
- 11) 支出負担行為年月日
- 12) 関連行為番号
- 13) 関連行為番号
- 14) 科目, 科目コード
- 15) 経費分類, 経費分類コード
- 16) 費目, 費目コード
- 17) 費目細目
- 18) 請求書受理年月日
- 19) 支払期限年月日
- 20) 日数
- 21) 支出金額
- 22) 支払方法
- 23) 外貨単位
- 24) 外価額
- 25) 受取人の住所氏名
- 26) 予算(項)(目)
- 27) 給付完了確認年月日
- 28) 帳簿投機済み年月日
- 29) 摘要
- 30) 数量
- 31) 物品管理との連携

2-5-3

機能内容

- 2-5-3-1 経理伝票データの検索・修正・削除ができること。
- 2-5-3-2 経理伝票データより事務局本部の予算執行管理システム用のフロッピーディスク作成ができること。

2-5-4

帳票出力

- 2-5-4-1 執行状況報告書総括の作成が行えること。
- 2-5-4-2 項目別執行状況報告書の作成が行えること。
- 2-5-4-3 部署別執行状況報告書の作成が行えること。

2-5-5

データ連携処理

- 2-5-5-1 物流データの取込み処理が行えること。
- 2-5-5-2 登録データは全て経営分析システムのデータウェアハウスに転送すること。
また診療系データウェアハウスから、必要なデータを取得すること。

2-5-6

保守・メンテナンス

- 2-5-6-1 各種テーブルマスタのメンテナンス機能を有すること。

2-6 管理機能

2-6-1

帳票出力機能

- 2-6-1-1 契約予定品目一覧

2-6-1-2	予定数量一覧
2-6-1-3	入札一覧
2-6-1-4	入札書
2-6-1-5	予定価格算出内訳
2-6-1-6	納入実績一覧
2-6-1-7	見積一覧
2-6-1-8	請求一覧表
2-6-1-9	請求状況確認表
2-6-1-10	未在庫一覧表
2-6-1-11	品目別発注数部署統計
2-6-1-12	部署別品目別発注数部署統計
2-6-1-13	部署別品目発注金額統計
2-6-1-14	契約品目一覧(物品マスタ)
2-6-1-15	契約品目一覧(契約データ)
2-6-1-16	予定数量加重平均資料が出力
2-6-1-17	契約更新データチェックリスト
2-6-1-18	管理簿, 出納簿
2-6-1-19	病棟毎の受払いリスト
2-6-1-20	出庫状況リスト
2-6-1-21	在庫状況リスト
2-6-1-22	入庫状況リスト
2-6-1-23	返品状況リスト
2-6-1-24	部署別出庫リスト
2-6-1-25	在庫状況一覧(材料種別)
2-6-1-26	発注一覧表
2-6-1-27	品目種別出庫金額統計
2-6-1-28	品目別流通状況一覧
2-6-1-29	業者・品目別発注数部署統計
2-6-1-30	部署別発注未在庫統計
2-6-1-31	品目ごと発注金額50万円以上統計一覧
2-6-1-32	滅菌器材全部署合計数一覧表(日時)
2-6-1-33	部署別品目別払出一覧表(月次/年次)
2-6-1-34	部署別滅菌種別一覧表(月次)
2-6-1-35	部署別品目別定数稼働率一覧表
2-6-1-36	入力データジャーナルブルーリスト
2-6-1-37	各種マスタリスト
2-6-1-38	材料マスタリスト
2-6-1-39	セットマスターリスト
2-6-1-40	部署マスター一覧表
2-6-1-41	ドローマスター一覧表
2-6-1-42	業者名マスター一覧表
2-6-1-43	バーコードブック
2-6-1-44	物品・点数マスタ・アンマッチ
2-6-2	テーブルメンテナンス

- 2-6-2-1 保守対象テーブルは、本院職員のシステム管理者ならびに当該部の権限を有する者が管理できること。
1) 項目マスタ
2) 項目分類マスタ
3) 必須入力事項設定テーブル
4) コメントテーブル
5) ツール用の警告メッセージ
6) ツール用のエラーメッセージ
7) 物品マスタ
8) 物品分類マスタ
9) 部署・ドロアーマスタ
10) 部署管理マスタ
11) 業者マスタ
12) オーダ締め切り時刻設定テーブル
- 2-6-2-2 物品テーブルの世代管理ができること。
- 2-6-2-3 物品テーブルの一覧出力ができること。
- 2-6-2-4 材料のサイズ、価格、メーカー名、包装単位、納入業者が入力でき修正、追加ができること。
- 2-6-2-5 コード番号で検索できること。
- 2-6-2-6 セットごとに、セットしてある器材のコード番号と数量が一覧表になっていること。
- 2-6-2-7 セットマスターの修正、追加ができること。
- 2-6-2-8 ドロアー番号別に材料の一覧表として出力できること。
- 2-6-2-9 ドロアー番号別定数マスタは修正、追加ができること。
- 2-6-2-10 ドロアー番号別部署マスタは曜日ごとに部署が設定されていること。
- 2-6-2-11 ドロアー番号別部署マスタは修正、追加ができること。
- 2-6-2-12 業者名マスタは業者別に、コード番号を表示できること。
- 2-6-2-13 ハンディーターミナル編集(材料部、手術部のみ)はドロアーの定数変更や材料変更した場合、自動的に編集されること。
- 2-6-2-14 品目マスタ登録、所属マスタ登録、マスタリストの作成ができること。
- 2-6-3 システム管理業務**
- 2-6-3-1 入在庫歴変更処理をできること。
- 2-6-3-2 月次ファイル更新処理をできること。
- 2-6-3-3 年次ファイル更新処理をできること。

2-7 他システムとの連携

2-7-1 セキュリティ管理システム

2-7-2 診療プラットフォーム

- 2-7-2-1 各種エントリ・ツール、オーダ・ツールで入力確定または実施確定された診療行為に関わる物品等の消費状況を全て受信すること。

2-7-3 各部門システム

- 2-7-3-1 各部門システムで入力確定または実施確定された診療行為に関わる物品等の消費状況を全て受信すること。
- 2-7-3-2 各部門システムで消費または請求された試薬等消耗品の状況を全て受信すること。

2-7-4 材料払出システム

2-7-4-1 材料払出システムより、請求情報を受信すること。

2-7-4-2 材料払出システムに対して、発注状況、在庫予定状況等の情報を送信すること。

2-7-5 医事会計システム

2-7-5-1 医事会計に要する情報を送信すること。

2-7-6 経営分析システム

2-7-6-1 物流システムにおいて作成される履歴データは全て経営分析システムのデータウェアハウスに転送すること。

3 経営分析システム

3-1 基本機能

3-1-1 セキュリティ

- 3-1-1-1 経営分析システムに資するサーバは、OSレベルから厳重な保全設計ならびに管理が為されること。
- 3-1-1-2 経営分析システムの操作は、指定する本院正職員のみが行えること。
- 3-1-1-3 全ての操作履歴が作成され、これは変更ならびに削除できないこと。

3-1-2 データウェアハウス

- 3-1-2-1 本院の全ての経営資源(人的資源・動産・資金等・不動産))が登録可能なシステム環境であること。
- 3-1-2-2 本院の全ての診療資源)が登録可能なシステム環境であること。
- 3-1-2-3 診療データベース、診療部門情報データベース群、物流データベース、ならびに医事会計データベースから(指定する)診療情報等を抽出し、経営分析用データウェアハウスに登録すること。
- 3-1-2-4 経営分析用データウェアハウスへは追記登録とし、それまでに蓄積されたデータ(分析結果ではない)に対して影響を与えないこと。

3-1-3 データウェアハウス・マネジメントソフトウェア

- 3-1-3-1 データウェアハウス専用に設計・開発されたオープンなリレーショナル・データベースであること。
- 3-1-3-2 スタースキーマ構造において最適なパフォーマンスを提供できること。
- 3-1-3-3 ODBC(Open Database Connectivity)3.5 以上に対応していること。
- 3-1-3-4 JDBC(Java Database Connectivity)2.0 以上に対応していること。
- 3-1-3-5 クエリの最中にもローディング可能なリアルタイム・ローディング機能を持つこと。
- 3-1-3-6 ローディングの最中に集計を行う自動集計機能をもつこと。
- 3-1-3-7 2GB ファイル容量を使用できるデータベースであること。
- 3-1-3-8 IEEE が定める POSIX(Portable Operating System Interface for UNIX)規格を満たしたOS,もしくはMicrosoft Windows2000 Server 相当以上の機能を有すると判断されるOS上で稼働すること。

3-1-4 OLAP ツール

- 3-1-4-1 上記のデータウェアハウス・マネジメントソフトウェアをネイティブサポートしていること。
- 3-1-4-2 複雑なクエリを Microsoft Office 2000 準拠のユーザインタフェースで簡単に作成できること。
- 3-1-4-3 マウス操作でジョインを定義できること。
- 3-1-4-4 マウス操作による容易なデータ分析(アウトライナ,クロスタブ,ドリル)ができること。
- 3-1-4-5 ユーザを管理できること。
- 3-1-4-6 リポジトリ DB にメタデータ,検索シートを定義できる製品を1ユーザ以上提供すること。
- 3-1-4-7 提供されたりポジトリ DB に接続して分析できる製品を50ユーザ以上提供すること。
- 3-1-4-8 IEEE が定める POSIX(Portable Operating System Interface for UNIX)規格を満たしたOS,もしくはMicrosoft Windows2000 相当以上の機能を有すると判断されるOS上で稼働すること。

3-2 取込と統合

3-2-1 医業収入

3-2-1-1 本調達システムで導入する医事会計システムから、必要な情報をとりこみデータ統合すること。

3-2-2 医業支出に関わる情報項目

3-2-2-1 本調達システムで検知できる、もしくは本調達システムとオンライン接続されたシステムもしくは機器から取得される必要な情報をとりこみデータ統合すること。

3-2-3 経費（消費財関係）

3-2-3-1 物流システムを介して必要な負担行為情報をとりこみデータ統合すること。

3-2-4 人的資源に関わる情報項目

3-2-4-1 事務局人事管理システムから必要な情報をとりこみデータ統合すること。
なお、そのためのインターフェースも提供すること。ただしオンライン接続ではなく外部記憶媒体による情報授受とする。

3-3 抽出と登録

3-3-1 診療情報の抽出

3-3-1-1 医事会計システム、診療部門情報データベース群、物流データベース、ならびに医事会計データベースから、全ての診療行為について、項目毎に、システムに登録されている院内診療資源の消費および利用情報を経営分析用データウェアハウスに蓄積すること。

3-3-1-2 本院の診療資源については、医事会計システム、診療部門情報データベース群、物流データベースのマスタ情報を引用できること。

3-3-1-3 情報の抽出は多段階のフィルタリングによって実行できること。

3-3-1-4 抽出された情報は、オープン系システムで加工することなく利用できる形式であること。

3-3-2 転送と登録

3-3-2-1 周期(日次・週次・月次・四半期・半期・年次)

3-3-2-2 転送時間(本仕様書冒頭の「応答性 - バッチ処理」を参照のこと)

3-3-2-3 登録時間(本仕様書冒頭の「応答性 - バッチ処理」を参照のこと)

3-3-2-4 解析時間(本仕様書冒頭の「応答性 - バッチ処理」を参照のこと)

3-3-2-5 毎朝、WWWにて日次レポートを参照できること。

3-3-2-6 毎週月曜朝、WWWにて週次レポートを参照できること。

3-3-2-7 毎月10日の翌営業日朝、WWWにて月次レポートを参照できること。

3-3-2-8 四半期・半期・年次レポートは、締め日後1週間以内にWWWにて月次レポートを参照できること。

3-3-3 システム間インターフェイス

3-3-3-1 国立大学病院共通ソフト病院経営情報システム(インターフェイス機能)に準拠したシステム間インターフェイスを導入して、接続・実稼働を完遂すること。

3-4 管理課帳票

3-4-1 用度第二係

3-4-1-1 基準寝具 / 病衣借上調べ(月別・年度別)

3-4-1-2 材料納入実績表(月別・年度別)

3-4-1-3 入院外来別診療科別材料使用量統計(月別・年度別)

1) 横方向は日、週、月いずれかの時間軸

- 2) 縦方向は材料あるいは材料群
- 3-4-1-4 材料在庫金額一覧(月別・年度別)
- 3-4-1-5 薬品納入実績表(月別・年度別)
- 3-4-1-6 入院外来別診療科別薬剤使用量統計(月別・年度別)
 - 1) 横方向は日, 週, 月いずれかの時間軸
 - 2) 縦方向は薬剤あるいは薬効群
- 3-4-1-7 医薬品在庫金額一覧(月別・年度別)
- 3-4-1-8 血液製剤納入実績(月別・年度別)
- 3-4-1-9 入院外来別診療科別血液製剤使用量統計(月別・年度別)
 - 1) 横方向は日, 週, 月いずれかの時間軸
 - 2) 縦方向は血液製剤
- 3-4-1-10 血液製剤在庫金額一覧(日別)
- 3-4-1-11 薬剤関係の, 以下の帳票を出力できること.
 - 1) 発注プルーフリスト(用度提出分)
 - 2) 出庫プルーフ
 - 3) 返納プルーフ
 - 4) 薬品払出表
 - 5) 薬品受払簿
 - 6) 薬効別薬品消費統計
 - 7) 診療科別消費統計
 - 8) 稼動額統計
 - 9) 指定薬プルーフリスト
 - 10) 薬品購入金額一覧表
 - 11) 使用期限切れ警告リスト
- 3-4-2 司計係**
- 3-4-2-1 以下の帳票を出力できること.
 - 1) 注射薬剤一覧
 - 2) 注射薬剤使用実績一覧表
 { 臓器別統計帳表も出力できるならば加点として評価する. }
- 3-4-2-2 予算関係5月調書作成に関係する以下の帳票作成に資する機能を提供可能であること.
 - 1) 附属病院収入収納済歳入額区分別調
 - 2) 附属病院収入見込額等調
 - 3) 診療費用請求見込額等調
 - 4) 特別医療費実績額調
 - 5) 管理設備費実績額調
 - 6) 総医療費消費見込額等調
 - 7) 診療費用請求額調(診療科・臓器別)
 - 8) 基本診療料診療費用請求額内訳調
 - 9) 諸収診療費用請求額内訳調
 - 10) 病院収入整理区分別診療費用請求額調
 - 11) 度末医薬品等在庫額調
 - 12) 総医療費消費額調(診療科・臓器別)
 - 13) 患者診療経費実績額及び財源内訳

- 14) 医療費消費実績額調
- 15) 患者数調べ
- 16) 診療科臓器別患者数調
- 17) 病床稼働率調
- 18) 診療科臓器別稼働率等調
- 19) 差額対象病床に係る稼働率等調
- 20) 保険適用外診療費用請求額調
- 21) 患者食糧費等決算額調
- 22) 医薬品等の臨床研究(治験)の実績額調
- 23) 患者給食に関する調
- 24) 病院業務改善実施経費(レセプト請求業務等点検経費)
- 25) 薬価基準及び診療報酬点数改正に伴う影響率調

3-4-2-3

予算関係9月調書作成に係る以下の帳票作成に資する機能を提供可能であること。

- 1) 患者(見込)数調
- 2) 病床稼働(見込)率調
- 3) 差額病床等に係る稼働(見込)率等調
- 4) 医療費消費実績額調
- 5) 総医療費消費見込額調
- 6) 患者給食に関する改善状況等調
- 7) 患者食糧費等所要見込額調
- 8) 看護学校等講師手当所要見込額調
- 9) 光熱水料所要見込額内訳表
- 10) 様式8の附表2の分析資料
- 11) 電子計算機に関する調
- 12) 特別高圧受電施設保守委託費調
- 13) ボイラー運転業務委託費調
- 14) 院外処方箋発行率(見込)調
- 15) 様式8の附表1の分析資料
- 16) 感染性医療廃棄物処理経費所要見込額調
- 17) 電話交換業務等委託費調
- 18) 警備委託等に関する調
- 19) 光熱水料,燃料費所要見込額調
- 20) 年度末医薬品等在庫額調

3-4-2-4

予算関係2月調書作成に係る以下の帳票作成に資する機能を提供可能であること。

- 1) 診療費用請求見込額及び収入見込額
- 2) 診療費用請求見込額調(入院)
- 3) 診療費用請求見込額調(外来)
- 4) 診療費用請求見込額調(総表)
- 5) 総医療費消費実績額調
- 6) 総医療費消費見込額調(臓器別)
- 7) 総医療費消費見込額調(入院)
- 8) 総医療費消費見込額調(外来)

- 9) 患者(見込)数調
- 10) 患者食糧費等所要見込額調
- 11) 診療費用請求見込額及び収入見込額調
- 12) 診療費用請求見込額調
- 13) 医療費等消費見込額調
- 14) 総医療費消費見込額調
- 3-4-2-5 患者(見込)数調
- 3-4-2-6 診療報酬改定時の影響率
改定時に新旧の診療報酬額を比較し収入に対する影響率を高精度で出力すること。

3-5 経営分析

3-5-1 条件設定

- 3-5-1-1 原価項目別に一定基準に基づく部門別配賦率の設定を行えること。
- 3-5-1-2 原価データ入力として自費診療実績入力を行えること。
- 3-5-1-3 償却費・経費その他の実績入力を行えること。

3-5-2 一次分析

- 3-5-2-1 以下の諸表を出力できること(週次・月次・四半期・半期・年次)。
 - 1) 部門別患者数推移表
 - 2) 部門別診療圏患者数推移表
 - 3) 診療圏別患者動向表
 - 4) 部門別診療圏別患者動向表
 - 5) 部門別外来患者数
 - 6) 部門別入院患者数
 - 7) 部門別在院日数
 - 8) 部門別損益推移表
- 3-5-2-2 病院資料関係の以下の帳票を出力できること。
 - 1) 診療科別現員構成
 - 2) 中央診療施設等別現員構成
 - 3) 薬剤部現員構成
 - 4) 看護部現員構成
 - 5) 事務部役職者現員構成
 - 6) 土地および建物
 - 7) 病院開設許可(承認)等
 - 8) 施設基準等
 - 9) 夜間勤務等看護加算
 - 10) 施設基準等の承認状況
 - 11) 重症者収容基準の承認状況
 - 12) 病床・病室
 - 13) 病床数調
 - 14) 診療科等別病床数調
 - 15) 病棟別病床数調
 - 16) 診療科別・階別・病棟別病床数
 - 17) 診療科等別病床数変遷
 - 18) 患者数等

- 1 9) 診療科別・年度別外来患者数調
- 2 0) 診療科別・年度別入院患者数調
- 2 1) 診療科別・年度別外来一日当り患者数
- 2 2) 診療科別・年度別病床稼働率
- 2 3) 病類別症度別入院患者数調
- 2 4) 看護者からみた症度別入院患者数調
- 2 5) 診療費用負担区分別患者数調
- 2 6) 社会福祉関係法等による患者数調
- 2 7) 地域別患者数調べ(外来)
- 2 8) 地域別患者数調べ(入院)
- 3 0) 校費負担患者数調
- 3 1) 差額病床及び重症加算病床稼働率・徴収率
- 3 2) 集中治療病床稼働状況調
- 3 3) 特定機能病院紹介患者調
- 3 4) 診療科別紹介率年報[診療報酬請求上による]
- 3 5) 診療科別紹介率年報[医療法上による]
- 3 6) 年度別収入額調
- 3 7) 歳出決算額調
- 3 8) 医療費支出実績額調
- 3 9) 年度別・7区分別診療費用請求額調
- 4 0) 診療科別診療費用請求額調
- 4 2) 臨床検査件数調
- 4 2) 手術・麻酔件数調
- 4 2) 放射線撮影・透視・治療・検査件数調
- 4 4) 救急患者数調
- 4 5) 分娩件数調
- 4 6) 病理解剖件数調
- 4 7) 調剤薬処方枚数・処方件数・処方剤数調
- 2 8) 患者給食
- 4 9) 患者給食内容別調
- 5 0) 栄養指導件数・人数調

3-5-3**二次分析**

3-5-3-1

以下の資料作成に資する機能を提供可能であること。

- A) 経営分析レポート(日次・週次・月次・四半期・半期・年次・三年次・五年次)
- B) 人的資源の動態把握(人的資源の活用状況と適正配置)に関する資料
- C) 動産資源の動態把握(消耗品回転率や医療機器稼働率と効率的運用)に関する資料
- D) 不動産資源の動態把握(実稼働率向上による診療空間の有効利用)に関する資料
- E) 診療債権の動向把握(債権の証券化対策)に必要な資料
- F) 国立学校特別会計予算の企業会計的な支出把握に必要な資料
- G) 病院評価機構の評価項目に適合する人的資源配置と物的資源配分に関する資料
- H) 上記資料は、以下の算出にも活用することとなる。
 - 1) 大学附属病院収入支出決算

- 2) 「診療」に従事する平均的な時間割合
- 3) 大学附属病院施設整備費予算・決算額
- 4) 歳入歳出決算等の財務諸表への振替表
- 5) (項) 大学附属病院の事項別決算調
- 6) 費用から資産への振替表
- 7) 精算表
- 8) 附属病院収入収納未済額調
- 9) 決算修正取引の内訳
- 10) 国立大学附属病院における財務諸表
- 11) 借入金償還計画(総表)
- 12) 歳出決算額(附属病院関連)
- 13) 歳入歳出予算補正予定額科目別表
- 14) 教育研究費の決算額内訳

3-5-4 有用性

3-5-4-1 抽出された診療・会計情報が下記の情報出力・分析に対して有用であること。

- 1) レセプト清算時の割引率の極小化
- 2) 医療材料・薬品等の効率的な購買
- 3) 財務諸表三表(貸借対照表, 損益計算書, キャッシュフロー計算書)

3-6 診療分析

3-6-1-1 以下の分析に対して有用であること。

- 1) 各患者の各病名における DRG/PPS 疾患群の候補の分析
- 2) パスとバリエーションに関する分析
- 3) 制約因子とチェーンおよびバッファに関する分析

3-7 他のシステムとの連携

3-7-1 セキュリティ管理システム

3-7-1-1 アクセス権の設定に要するすべての情報を送受すること。

3-7-2 診療プラットフォーム

3-7-2-1 実施または入力された診療行為情報等を算定・非算定に関わらず全て受信すること。

3-7-2-2 受信した情報をデータウェアハウスに格納すること。

3-7-3 各部門システム

3-7-3-1 実施または入力された診療行為情報等を算定・非算定に関わらず全て受信すること。

3-7-3-2 生成された診療行為情報等を算定・非算定に関わらず全て受信すること。

3-7-3-3 受信した情報をデータウェアハウスに格納すること。

3-7-4 物流システム

3-7-4-1 受け払い, 流通, 消費情報を全て受信すること。

3-7-4-2 受信した情報をデータウェアハウスに格納すること。

3-7-5 医事会計システム

3-7-5-1 医事会計処理結果を全て受信すること(返戻・減額・請求実施非実施を含む)。

3-7-5-2 受信した情報をデータウェアハウスに格納すること。